

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 日本ビジネスシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5036 URL https://www.jbs.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧田 幸弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 CFO (氏名) 勝田 耕平 TEL 03 (6778) 7336
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績 (2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	106,147	29.0	3,443	28.5	3,468	23.7	503	△72.1
2023年9月期第3四半期	82,312	—	2,679	—	2,804	—	1,805	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 568百万円 (△71.6%) 2023年9月期第3四半期 2,005百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	11.05	10.55
2023年9月期第3四半期	39.92	38.00

(注) 1. 2023年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	73,235	21,792	29.8
2023年9月期	49,608	22,221	44.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 21,792百万円 2023年9月期 22,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	20.00	—	10.00	—
2024年9月期	—	12.00	—	—	—
2024年9月期 (予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2023年9月期の1株当たり期末配当金は20.00円となり、1株当たり年間配当金は40.00円となります。

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,800	12.4	5,100	21.6	5,100	17.3	1,500	△55.2	32.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	48,366,400株	2023年9月期	48,366,400株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	2,776,645株	2023年9月期	2,794,679株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	45,579,943株	2023年9月期3Q	45,221,002株

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当四半期の決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年6月30日）における国内経済は、エネルギー・原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、金利の変動による為替動向等の影響はありましたが、雇用・所得環境の改善及び企業の設備投資の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、国内IT市場においては、幅広い業種にわたり、各企業のデジタル変革（DX）に対する投資意欲は引き続き旺盛で、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたIT投資需要が活況に推移しました。さらに、各クラウドベンダー及びメーカーの生成AIに対する開発競争が加速していることに加え、マイクロソフト社をはじめとした各メーカーが日本への投資を積極的に進めており、今後、様々な分野でクラウド技術やクラウドサービスの活用が進んでいくことが期待されています。

当社グループにおいては、市場拡大が続くパブリッククラウド市場において、マイクロソフト製品を中心に、価値のデザインから構築、利活用促進までを一気通貫で担えるソリューション提供力を強みに、大手エンタープライズとの直接取引によって事業拡大を実現してまいりました。また、今後の需要拡大が期待される顧客ニーズの高いセキュリティ及び生成AIにおける支援に注力しており、それぞれ新たなサービスの提供を通じて、顧客の導入・検討状況に応じた支援を行っております。

当社のマイクロソフトクラウドに対する知見と実績により、7月31日に発表された日本マイクロソフト株式会社が主催する「マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2024」において、当社は3部門のアワードを受賞しております。なかでも、今年から新設された「Copilot」カテゴリでは、当社が他社に先駆けて生成AIのサービス展開を行い、導入及び定着化の支援を行ってきたことが評価されております。さらに、同じく日本マイクロソフト株式会社が実施するパートナー企業で活躍するエンジニアを対象としたアワードプログラム「Microsoft Top Partner Engineer Award」においても、当社グループは全5カテゴリでの受賞及び全パートナーで最多となる18名が受賞しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は106,147百万円（前年同期比29.0%増）、営業利益は3,443百万円（同28.5%増）、経常利益は3,468百万円（同23.7%増）と増収増益になった一方で、連結子会社である株式会社ネクストスケープにかかるのれんの減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は503百万円（同72.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績（売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は次の通りであります。

（クラウドインテグレーション事業）

当第3四半期連結累計期間は、旺盛なクラウド需要を背景に案件が増加し、売上が拡大した一方、一部案件の納期変更及び長期化等によりコストが増加した結果、売上高は17,174百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は2,069百万円（同12.0%減）となりました。

（クラウドサービス事業）

当第3四半期連結累計期間は、営業活動の強化によって、新規顧客の獲得及び既存顧客との契約拡大が進んだことにより売上が拡大したことに加え、マネージドサービスなどの自社サービスの拡販により収益性が向上した結果、売上高は13,782百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益は2,088百万円（同33.1%増）となりました。

（ライセンス&プロダクツ事業）

当第3四半期連結累計期間は、物販の大口受注を獲得したことに加え、顧客企業のクラウド活用促進による既存顧客に対するマイクロソフトライセンス販売のアップセル及びクロスセルが進んだ結果、売上高は75,181百万円（前年同期比38.5%増）、セグメント利益は1,955百万円（同48.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて17,265百万円増加し、43,099百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が16,061百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて6,361百万円増加し、30,135百万円となりました。これは主に、有形固定資産が8,152百万円増加した一方で、無形固定資産が1,936百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べて23,626百万円増加し、73,235百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて18,093百万円増加し、35,278百万円となりました。これは主に、買掛金が16,815百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べて5,961百万円増加し、16,163百万円となりました。これは主に、長期借入金が4,650百万円、資産除去債務が1,265百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて24,055百万円増加し、51,442百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて428百万円減少し、21,792百万円となりました。これは主に、利益剰余金が498百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は29.8%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想については、2024年5月14日に「2024年9月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,345	5,551
受取手形、売掛金及び契約資産	15,904	31,966
棚卸資産	1,044	2,005
その他	3,558	3,582
貸倒引当金	△17	△5
流動資産合計	25,834	43,099
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,486	13,432
土地	7,552	9,570
その他（純額）	1,138	1,327
有形固定資産合計	16,177	24,330
無形固定資産		
のれん	1,835	-
その他	443	342
無形固定資産合計	2,278	342
投資その他の資産		
その他	5,337	5,493
貸倒引当金	△19	△30
投資その他の資産合計	5,318	5,462
固定資産合計	23,774	30,135
資産合計	49,608	73,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,228	22,044
短期借入金	1,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	1,538	2,188
未払法人税等	333	721
賞与引当金	1,790	959
受注損失引当金	40	87
その他	6,752	6,777
流動負債合計	17,185	35,278
固定負債		
長期借入金	9,285	13,935
役員退職慰労引当金	376	370
修繕引当金	165	218
資産除去債務	373	1,638
その他	0	0
固定負債合計	10,201	16,163
負債合計	27,387	51,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	539	539
資本剰余金	8,648	8,651
利益剰余金	13,089	12,590
自己株式	△298	△296
株主資本合計	21,979	21,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241	306
その他の包括利益累計額合計	241	306
新株予約権	0	0
純資産合計	22,221	21,792
負債純資産合計	49,608	73,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	82,312	106,147
売上原価	73,098	95,361
売上総利益	9,213	10,785
販売費及び一般管理費	6,534	7,341
営業利益	2,679	3,443
営業外収益		
持分法による投資利益	93	60
保険解約返戻金	64	40
その他	108	56
営業外収益合計	266	157
営業外費用		
支払利息	32	53
その他	109	80
営業外費用合計	142	133
経常利益	2,804	3,468
特別利益		
固定資産売却益	—	3
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	3
特別損失		
減損損失	—	1,720
固定資産除却損	22	0
特別損失合計	22	1,720
税金等調整前四半期純利益	2,782	1,750
法人税等合計	976	1,246
四半期純利益	1,805	503
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,805	503

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	1,805	503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200	65
その他の包括利益合計	200	65
四半期包括利益	2,005	568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,005	568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	16,608	11,425	54,268	82,302	10	—	82,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	12	—	20	—	△20	—
計	16,616	11,437	54,268	82,322	10	△20	82,312
セグメント利益	2,351	1,568	1,321	5,241	4	△2,566	2,679

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,566百万円には、のれんの償却額△176百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,390百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に実施した株式会社ネクストスケープとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額の修正は生じておりません。なお、資産については、事業セグメントに配分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	17,174	13,782	75,181	106,138	9	—	106,147
セグメント間の内部売 上高又は振替高	9	6	33	48	—	△48	—
計	17,183	13,788	75,214	106,187	9	△48	106,147
セグメント利益	2,069	2,088	1,955	6,112	4	△2,673	3,443

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額△2,673百万円には、のれんの償却額△114百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△2,558百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で
あります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの減損損失を計上したため、当第3四半期連結累計期間においてのれんが1,720百万円減少して
おります。なお、資産については、事業セグメントに配分しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半
期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次
のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	391百万円	619百万円
のれんの償却額	176	114